

## シリーズ

人権尊重スキルを磨く  
「会議のファシリテーション講座」④



## 情報共有は「問いの立て方」が肝心

ちよんせいこさん(人まちファシリテーション工房)

### 私の中のお宝発見

「相談にのって欲しいんです」と、摂津市男女共同参画センターの吉本美江さん、坂手裕子さんから連絡をいただいたのは、昨春のことでした。

「人それぞれキラリと光るいいところがある。でも私なんか何もできないと思っている人が多い。自分の力を、ほんの少し誰かのために提供したり、小さな体験を積み重ね、つながりあうことができたなら、男女共同参画社会やまちづくりの第一歩になるはず!」と、2人から熱い思いが語られます。ところが、どんな講座を企画すれば良いかわからないので、「お知恵を拝借したい」という相談でした。

3人で約1時間。「うーん」と唸って悩んだのは、講座をどこに着陸させるのか。人材バンクを作りたいわけでもない。カチとした受講生発のまちづくり活動につなげるわけでもない。でも、何か繋がりは育みたい。新しい人も呼び込みたい。

悩んで悩んだ末に、2人が打ち立てた企画がコレでした。

○生涯現役で楽しく暮らす～せつつのまちのお宝さがし～○

これまでの暮らし中で培ってきた知識や経験を、ほんの少し誰かのために出し合ってみませんか。誰もが安心して楽しく暮らせる“せつつのまちのお宝”はあなたの中にも。

- 第1回 自分も相手も活かす関係づくり(ちよんせいこ)
- 第2回 市民活動の事例を知る  
(片寄俊秀/大阪人間科学大学教授)
- 第3回 おいしいコーヒーを飲みながらわいわいティータイム  
(中井恵子/珈琲専門店「香林坊」)
- 第4回 私の中のお宝発見～アイデア会議(ちよんせいこ)
- 第5回 最初の一歩を踏み出すために  
～私のプランを考えてみる(ちよんせいこ)

### 問いを立てる

約20名の参加を得て、講座はあっという間に進み、いよいよ第4回の「アイデア会議」を迎えました。前号で紹介した会議の進め方をまずは全員で練習。その後、私の中のお宝を発見する会議に突入します。

お宝を発散する時に立てた問いは「私にとって苦にならないこと」。4人1組のグループに分かれて、ホワイトボードの前に立ったファシリテーターが、一人ひとりに好意的な関心を向けながら意見を引き出してゆきます。すると、どうでしょう。出るわ、出るわ。たくさんの苦にならないことが発散されてゆきます。

食べ歩き旅行/刺繍、編物/野菜作り/ちりめん細工/絵を描く/お菓子づくり/豆料理/雑草とり/パソコン/ガーデニング/公園めぐり/韓国映画/手話コーラス/手話ダンス/舞台上でライトを浴びる/着物をほどいて何か作る/そうじ/収支計算/写真帳の整理/

和食/おぼんざい/引き出しのかたづけ/グループのサポート/ギター/万華鏡作り/おしゃべり/大正琴(童謡～演歌)/3B体操、等々。

ここに書ききれないほどの、たくさんのお宝がザックザックと掘り出されます。

その雰囲気はナント楽しそうなこと。自分の好きなことを語る時って、自然と笑顔になるんですね。何より、トナリに座っていた人が思わぬ経歴や才能の持ち主であるとわかるのがスゴイ。アチコチから「へえ～」という声が沸きあがり、「じゃあ、一緒にやりましょうよ」と、早速、一緒にボランティア活動をする計画もまとまりました。私たち一人ひとりって、素晴らしい社会資源なんですよ。

このグループ毎のホワイトボードを使った会議で大切なのは問いの立て方。例えば、ストレートに「私の中のお宝を出し合う」という問いで発散したらどうでしょうか。まず、「宝って何だろう」というハードルを飛び越える必要があります。時間があれば、それもありますが、そのハードルに挑む時間はありません。そこで、「宝」＝「苦にならないこと」「やっていて幸せを感じること」という、問いを立てたのです。

こうした発散による情報共有を進める時、問いの立て方は、とても重要になります。引き出したい領域に照準を合わせ、一人ひとりが意見を言いやすくなる問いを、ぜひ、みなさんの現場でもアレンジして立ててみてください。

### いい会議は、いいプランを生み出す

第5回目の講座では、みなさんの宝と宝をつなぎ合わせたプランづくりにチャレンジしました。前回発散した宝を収束し、活用できるプラン作りの練習です。自分達がやって苦にならないことをつなぎ合わせて、人が集まる場所やボランティア活動を企画します。「企画を創るって楽しい」「私の中にもお宝がある」「私たちにもデキル」「摂津の町がモット好きになりそう」。講座が終わった時のみなさんの満足気で充実感に満ちた顔は、そんなふうに語っていました。センターの担当者は、次々にホワイトボードに描かれてゆく企画を見ながら、ウルウルしていました。講座は企画をするところで終わりましたが、登録グループの「摂津市ネットワーク・チャオ」がセンターの支援を受けて、企画実現に向けて、再度、みんなが集まることを提案。講座での風景は、摂津のまちのちょっとした歴史的瞬間でした。ここに立ち会うことができたことをホント嬉しく思います。

みなさんの現場でも、ステキな会議ができますように!

参考文献：  
「人やまちが元気になるファシリテーター入門講座～17日で学ぶスキルとマインド」  
(著者:ちよんせいこ/発行:解放出版社)

